



someone on a journey



# 旅行者

第14回(2007年)OMS戯曲賞佳作受賞作品

[出演]

今井美佐穂 (第0 楽章) 田崎小春 (青年団 / melomys) 坂井初音  
山石未来 富名腰拓哉 森川稔 岡田菜見 (下鴨車窓)  
大熊ねこ (遊劇体) 三遊亭はらしょう

## とにかく彼女たちは疲れていた

知らない時代の遠い世界の話。大きな戦争があってその混乱がやっとおさまり  
そうな頃のこと。

どこまでも広がる荒野の中を走る一本の線路。それを伝って歩く三人の女性が  
いる。彼女らは街を追放されて故郷を目指す、異邦人の姉妹だ。海を渡るため  
には亡き父が生前言ったように叔父(会ったことはない)の援助を受けなければなら  
ない。その叔父は荒野のただ中にある寂れた村に住むという。

とにかく彼女たちは疲れていた。戦争の混乱を生き抜いてやっと落ち着いたと思  
ったら父を亡くし旅に出なければならなくなる。遠くにやっと村が見えてき  
た。三人は黙々とひたすら歩いている。

[舞台監督] 平岡希樹 [舞台美術] 川上明子 [照明] 葛西健一 [演出助手] 福井菜月 (下鴨車窓)  
[協力] 第0 楽章 / 青年団 / melomys / 遊劇体 / (有)ライタース・カンパニー  
[助成] 芸術文化振興基金 (大阪・東京公演) ※京都芸術センター制作支援事業

2016ver. 撮影 = 松本成弘

下鴨車窓は代表作である『旅行者』を大阪での試演会を経て、三重と東京にて上演いたします。

この作品は、現代日本からは場所も時代も遠く離れた世界の、街を追われた異邦人の姉妹が故郷を目指して旅する物語です。2006年の初演と翌年の戯曲賞受賞を経て、2008年に大阪の精華小劇場(現在は閉館)で再演。2010年には戯曲が韓国語に翻訳され、NPO法人劇研(日本)と劇団ノットル(韓国)との共同制作によって京都とウォンジュ、ソウルで上演されました(演出=ウォン・ヨンオ)。そして2016年に再び田辺自身の演出で伊丹のAI HALLと東京の座・高円寺にて上演。これらの公演すべてにおいて、演劇専門誌や新聞などに劇評として取り上げられ好評を得ています。



2006ver. 撮影 = 平野愛



2008ver.



2016ver. 撮影 = 松本成弘

遠い故郷を目指す人々の物語には「故郷」「家族」「国籍」「迫害」「法」などをキーワードとするテーマが折り込まれています。ウクライナの戦争を例えにひくまでもなく『旅行者』が取り扱う問題は初演から15年以上が経ってもまだ現在のままだと考えます。出演者は地元京都だけではなく、大阪や東京の俳優も参加。地域を越えた座組で新たな劇世界の構築を目指します。どうぞご期待ください。

## 三重

[日程] ※受付は開演の45分前、開場は30分前からです

2023年 10月 28日(土) 14:00※1  
29日(日) 14:00※2

▽終演後にトークイベントを開催  
※1 ゲスト=安住恭子(演劇評論家)  
※2 ゲスト=はしぐちしん(俳優・劇作家・演出家/コンプリ団)

[チケット料金] ※整理番号付き自由席

一般 2,700円(当日3,000円)

8/19(土) 発売

22歳以下 1,800円(当日2,000円)

- ・未就学児入場不可
- ・ユース(22歳以下)の方の割引には年齢を確認できる証明書のご提示が必要です

[チケット取り扱い]

▽下鴨車窓 右記『旅行者』特設サイトにて取り扱い

▽三重県文化会館

- ・チケットカウンター(窓口・電話)  
TEL: 059-233-1122  
(10:00~17:00 / 月曜または月祝翌平日休館)
- ・WEB チケットサービス「エムズネット」  
<https://p-ticket.jp/center-mie/>

[主催] 下鴨車窓

三重県文化会館 [指定管理者: 公益財団法人三重県文化振興事業団]

[後援] レディオキューブ FM 三重

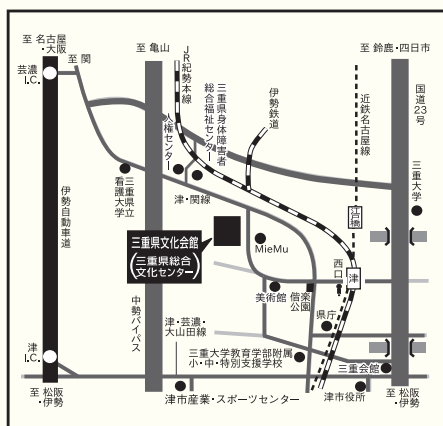
### 託児サービスのご案内

三重公演10月29日(日)の回の観劇のあいだ、託児サービスを行います。(予約制・先着順)  
料金: 1,000円  
対象: 生後3ヶ月から小学校入学前まで  
申込先: 三重県文化会館 TEL059-233-1122  
申込締切: 10月15日(日)

[会場] MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール

津市一身田上津部田1234 電話=059-233-1122



- ・近鉄名古屋線, JR 紀勢本線, 伊勢鉄道「津駅」西口より徒歩約 25 分 / 三重交通バス(系統番号 89) 約 5 分
- ・伊勢自動車道「津IC」より車で約 10 分 / 「芸濃 IC」より車で約 15 分

### 新型コロナウイルス感染症について

下鴨車窓は新型コロナウイルス感染症の状況をつねに注視しています。当公演も状況により公演を延期・中止する場合がございますのでご了承ください。詳しくは下鴨車窓にお問い合わせください。発熱等体調不良のときのご来場はお見合わせください。

## 大阪

[日程] 10月24日(火)

[会場] 扇町ミュージアムキューブ CUBE02

※大阪公演は試演会(照明や舞台装置等の演出効果を省略した上演)として行います

## 東京

[日程] 11月10日(金)-12日(日)

[会場] 座・高円寺

『旅行者』特設サイト  
最新情報やチケットも



mogamos



下鴨車窓 戯曲講座  
ことばに  
つむぐ  
Skype  
全国どこからでも

### 下鴨車窓 しもがもしやそう

京都を拠点に現代演劇の創作・公演をする劇団。2004年に結成、劇作家・演出家の田辺剛が代表。当初は作品ごとに出演者やスタッフを募りチームを作っていたが2020年4月に劇団化。ほぼ全ての作品が各地でツアー上演される。2015年には香港とマカオの海外公演も果たした。三重県文化会館では『漂着(island)』(2015年)、『散乱マリン』(2020年)以来の公演となる。

[脚本・演出] 田辺剛 たなべつよし

劇作家・演出家。京都市在住。2005年に『その赤い点は血だ』で第11回劇作家協会新人戯曲賞を、2007年に『旅行者』で第14回 OMS 戯曲賞佳作を受賞する。2006年秋より文化庁新進芸術家海外留学制度で韓国・ソウル市に一年間滞在し劇作家として研修する。また児童向け作品『きみがしらないひみつ』の3人が令和元年度社会保障審議会児童福祉文化財の推薦作品に選出。